

2011年3月期(2010年度) 決算説明会

2011年5月10日

東洋ゴム工業株式会社

資料の内容

1. 東日本大震災による経営への影響について
2. 2011年3月期(2010年度)決算概要について
3. 2012年3月期(2011年度)業績予想について
4. 補足資料

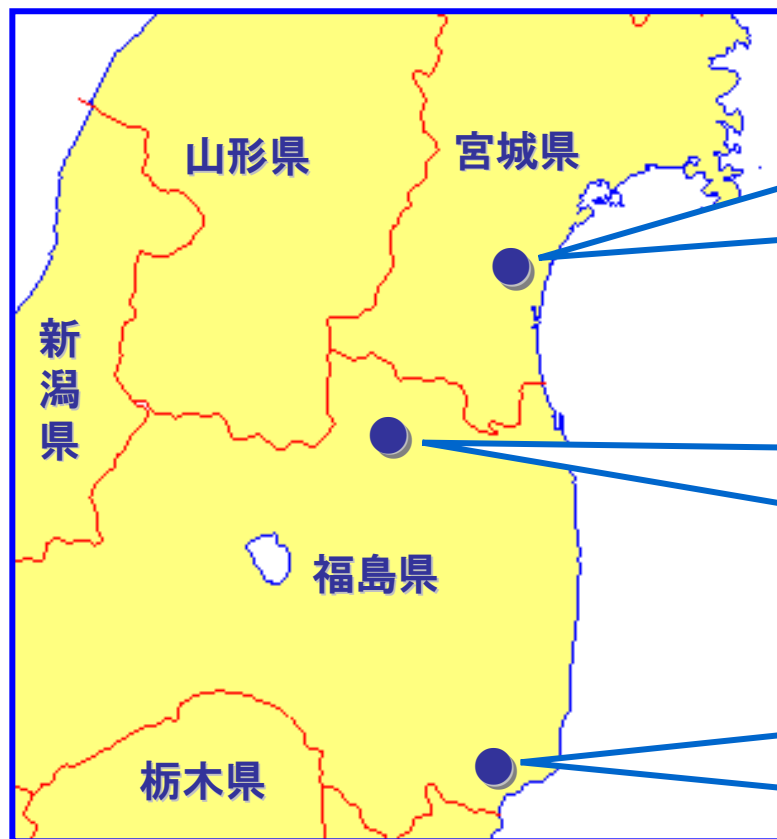
本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。

1. 東日本大震災による経営への影響 ①

このたびの東日本大震災により、被災された皆さま方に、改めて、心よりお見舞い申し上げます。東洋ゴムグループも全力を挙げて、復興に尽力してまいります。

■当該地域における当社グループの生産拠点



東洋ゴム工業株式会社 仙台工場

【生產品目】 自動車タイヤ

【所在地】 宮城県岩沼市
(海岸部から約5km／福島原発から約90km)



福島ゴム株式会社

【生產品目】 一般産業用ゴム製品、
自動車部品、遮水シート等

【所在地】 福島県福島市
(海岸部から約50km／福島原発から約80km)



ソフランウイズ株式会社 いわき工場

【生產品目】 ウレタン製品

【所在地】 宮城県いわき市
(海岸部から約5km／福島原発から約60km)



1. 東日本大震災による経営への影響 ②

■被災拠点の被災内容および復旧状況について

	当初の被災内容	復旧状況
東洋ゴム工業 仙台工場	<ul style="list-style-type: none">* 津波被害なし* 建物に大きな損傷なし* 停電による操業停止	<ul style="list-style-type: none">* 3月23日 生産再開* 4月 7日 余震により一旦操業停止* 4月 8日 生産再開* 4月12日 震災前の70%まで操業度引上げ* 5月 6日 震災前の水準に操業度が回復
福島ゴム	<ul style="list-style-type: none">* 津波被害なし* 建物に大きな損傷なし* 停電による操業停止	<ul style="list-style-type: none">* 3月21日 一部製品の生産再開* 5月 6日 震災前の水準に操業度が回復
ソフランウイズ いわき工場	<ul style="list-style-type: none">* 津波被害なし* 建物に大きな損傷なし* 停電による操業停止* 余震による設備破損	<ul style="list-style-type: none">* 4月 7日 一部製品の生産再開* 4月 8日 余震により操業停止、設備補修* 4月11日 余震により設備補修を中止* 4月15日 操業再開 順次生産量を拡大中

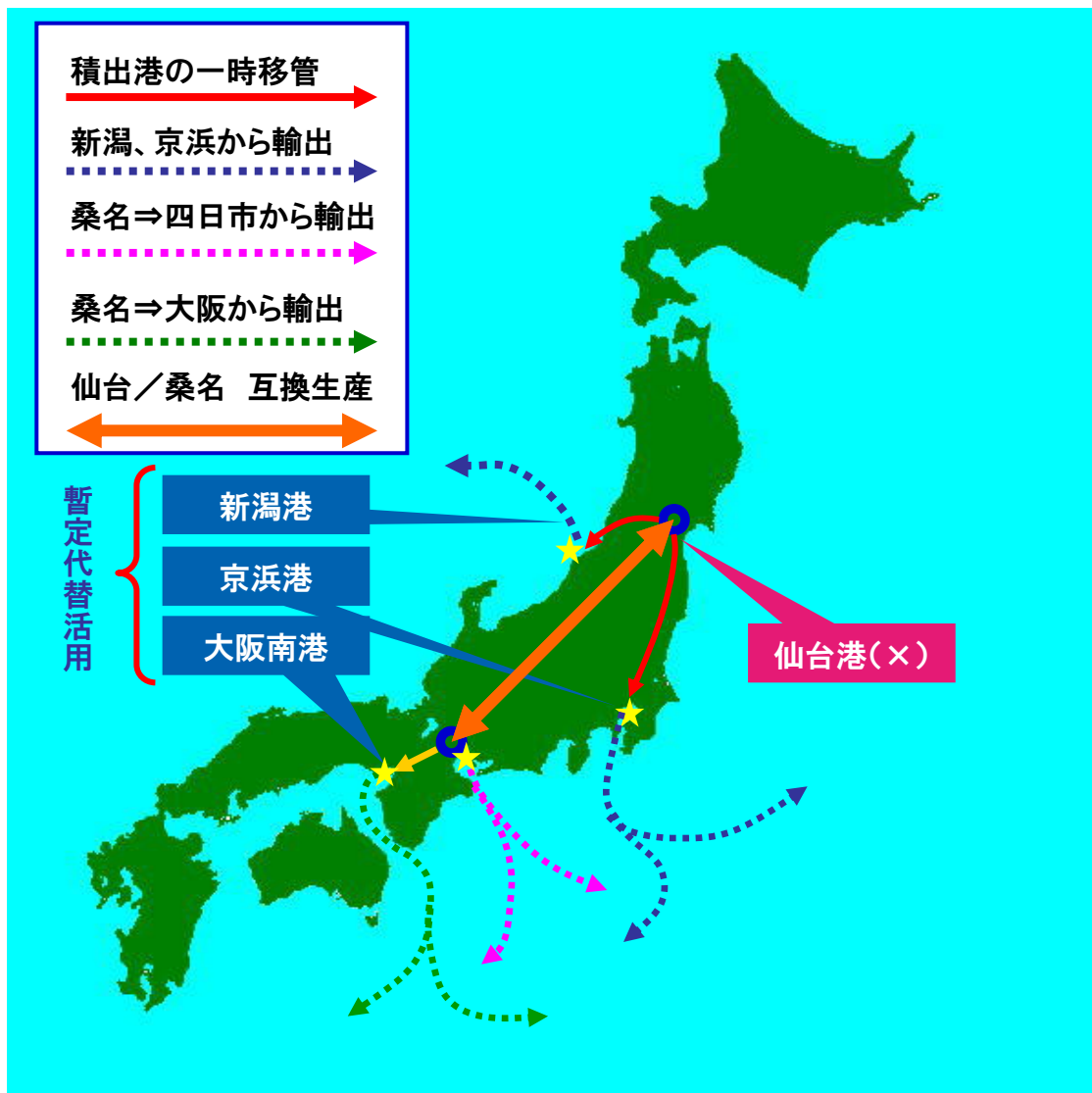
1. 東日本大震災による経営への影響 ③

■東日本大震災に伴う当社グループの被害、影響

	被害、影響の内容	
従業員の人命、家庭生活	＊人命：従業員3名死亡、行方不明1名、負傷4名、従業員の家族死亡者(17名) ＊家屋：404名の社員宅が、全半壊、または浸水の被害	
生産拠点の操業停止	仙台工場	停止期間：3月11日～22日
	福島ゴム	停止期間：3月11日～21日
	ソフランウイズいわき工場	停止期間：3月11日～4月6日、4月8日～14日
設備面での被災内容	＊物流倉庫が津波被害(ラック損壊、製品浸水) ＊各生産拠点の一部(配水管等)設備に損傷 など	
製品・原材料の被災内容	仙台港の津波被害 →	コンテナ：出荷製品(輸出用タイヤ)、入荷原材料(天然ゴム) 工場操業用燃料(石炭)
仙台港被災に伴う対処	＊他港を輸出に代替活用(応急措置) ＊桑名工場(三重県)との相互生産移管体制に着手	
完成車メーカー被災の影響	＊自動車部品工場(桑名)操業度低下・大幅減産	

1. 東日本大震災による経営への影響 ④

東日本大震災の影響に対する、生産/物流対応体制の構築



荷出し = 仙台港 × ⇒ 京浜港、新潟港 ○

国内市場の復旧状況を見ながら
桑名国内向け製品を仙台にて互換生産対応



仙台工場の海外向け製品を
桑名工場にて一部互換生産し、海外へ輸出

輸出 = 四日市港 ○ + 大阪南港 ○

■2011年3月期 通期業績ハイライト

◆経営環境

- * 期初想定為替レート(1ドル90円/1ユーロ120円)を上回る急激な円高(同86円/同113円)
- * 原材料価格の記録的高騰(天然ゴムTSR-20:期初約300セント/kg→2月約600セント/kg)
- * 国内上期はエコカー減税による新車需要増、海外は新興国需要が旺盛に推移

◆取り組み

- * 2008年度にスタートした中期経営計画の最終年度(基盤整備、収益改善、構造改革)
- * タイヤ事業:北米工場拡張、中国工場設立、マレーシア社買収などの海外展開への布石
- * タイヤ事業:「転がり抵抗AAA」を実現した低燃費タイヤを投入
- * ダイバーテック事業:生産工場の効率化と利益創造できる体質への改善

◆業績ハイライト

- * **連結売上高が回復、2期ぶりに増収** (国内エコカー減税、新興国需要拡大等の背景)
- * **連結営業利益が2期連続増益** (前期比1.4倍、営業利益率1.1ポイント向上し4.1%に)
- * **震災の影響受けるも最終利益を確保** (特別損失48億円計上、当期純利益は5億円に)

2. 2011年3月期(2010年度) 決算概要 ②

■2011年3月期 通期業績 (前期比)

(百万円)	2010年度		2009年度 通期実績	2/4時点 通期予想
	通期実績	前期比		
売上高	294,092	102.2%	287,726	300,000
営業利益	12,182	140.6%	8,664	10,400
経常利益	9,193	102.4%	8,979	7,700
当期純利益	521	17.6%	2,957	4,000

■2011年3月期 第4四半期業績 (前年同期比)

(百万円)	2010年度		2009年度 4Q実績
	4Q実績	前年同期比	
売上高	67,596	96.6%	69,981
営業利益	1,681	72.7%	2,312
経常利益	1,164	55.3%	2,103
当期純利益	△4,571	—	2,537

	平均為替レート	
	2010年度	2009年度
US\$	86円	92円
€	113円	131円

配当	
2010年度	2009年度
5円(予定)	3円(実績)

2. 2011年3月期(2010年度) 決算概要 ③

■事業セグメント別 通期業績 (前期比)

(百万円)	通期 売上高		
	2010年度	前期比	2009年度
タイヤ	216,578	101.1%	214,291
ダイバーテック	77,314	105.4%	73,357
その他	200	263.2%	76
調整額	—	—	—
合計	294,092	102.2%	287,726

通期 営業利益		
2010年度	前期比	2009年度
8,863	127.8%	6,933
3,197	188.3%	1,698
147	144.1%	102
△27	—	△69
12,182	140.6%	8,664

■事業セグメント別 第4四半期業績 (前年同期比)

(百万円)	第4四半期 売上高		
	2010年度	前年同期比	2009年度
タイヤ	49,782	99.2%	50,208
ダイバーテック	17,797	90.1%	19,753
その他	19	105.6%	18
調整額	—	—	—
合計	67,597	96.6%	69,981

第4四半期 営業利益		
2010年度	前年同期比	2009年度
921	62.7%	1,469
753	88.9%	847
18	85.7%	21
△14	—	△25
1,681	72.8%	2,312

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高は含まず。
※2009年度実績は、2010年度の報告区分に組替えて記載。

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

2. 2011年3月期(2010年度) 決算概要 ④

■所在地セグメント別 通期業績 (前期比較)

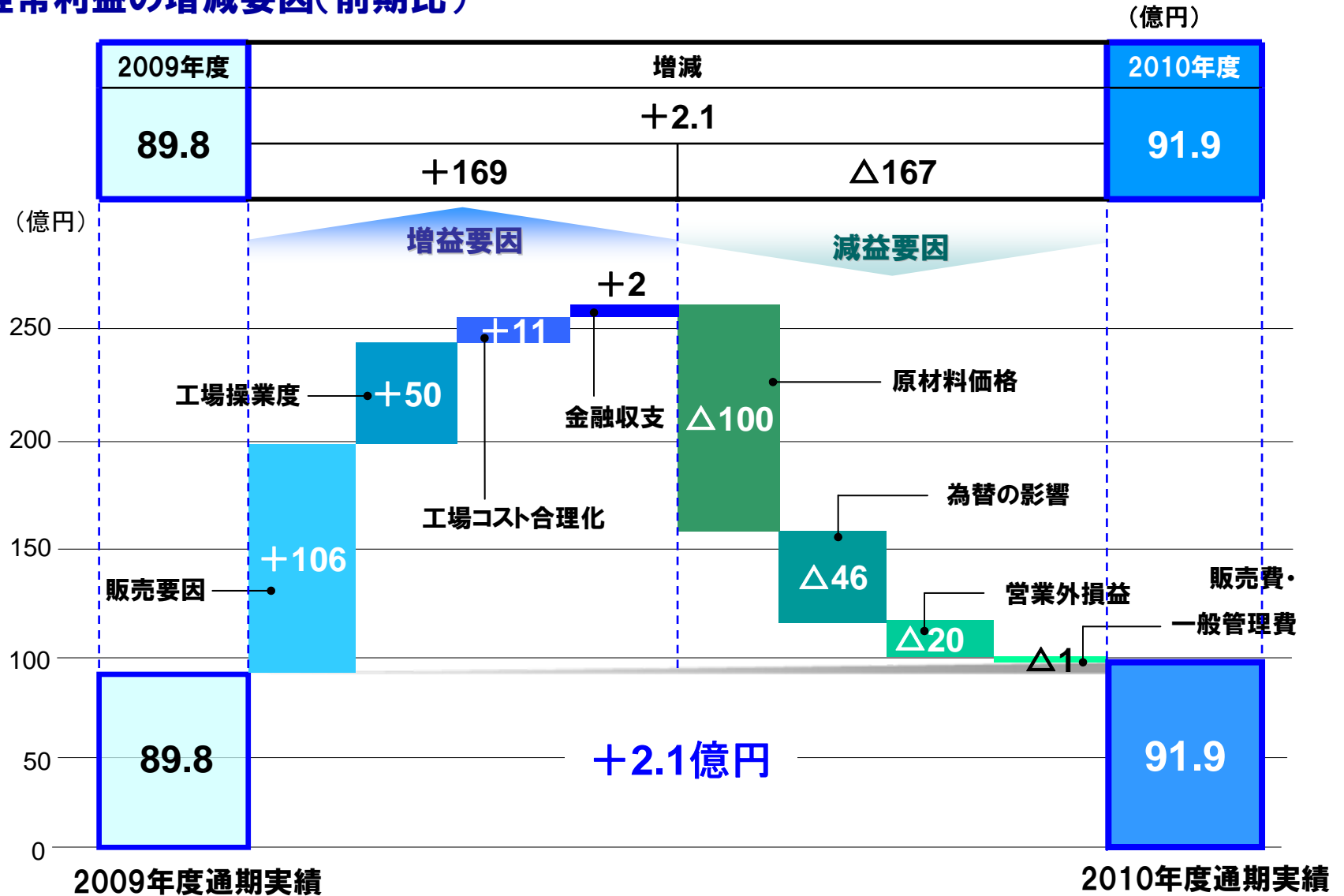
(百万円)		通期 売上高			通期 営業利益		
		2010年度	前期差	2009年度	2010年度	前期差	2009年度
日	本	157,107	△2,801	159,908	5,662	+1,197	4,465
北	米	95,307	+8,949	86,358	4,315	+1,355	2,960
そ	の	41,678	+220	41,458	1,889	+202	1,687
消	去	—	—	—	316	+764	△448
合	計	294,092	+6,366	287,726	12,182	+3,518	8,664

■所在地セグメント別 第4四半期業績 (前年同期比較)

(百万円)		第4四半期 売上高			第4四半期 営業利益		
		2010年度	前年同期差	2009年度	2010年度	前年同期差	2009年度
日	本	34,183	△4,038	38,221	362	△211	573
北	米	23,875	+2,544	21,331	1,097	+399	698
そ	の	9,540	△887	10,427	376	△96	472
消	去	—	—	—	△152	△720	568
合	計	67,597	△2,384	69,981	1,681	△631	2,312

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高は含まず。

■ 経常利益の増減要因(前期比)



3. 2012年3月期(2011年度) 業績予想 ①

■2012年3月期 事業に関わる環境見通し

◆経営環境

影響材料

- *天然ゴムをはじめとする原材料価格の高騰懸念（原油、ナフサ価格が上昇）
- *円相場の高止まり想定（前提とする平均為替レート 1ドル83円 / 1ユーロ117円）
- *東日本大震災からの復興速度(停滞)に伴う影響

成長材料

- *中国、東南アジアなど、旺盛な新興国需要のさらなる拡大
- *世界レベルで環境配慮型商品の浸透度が加速



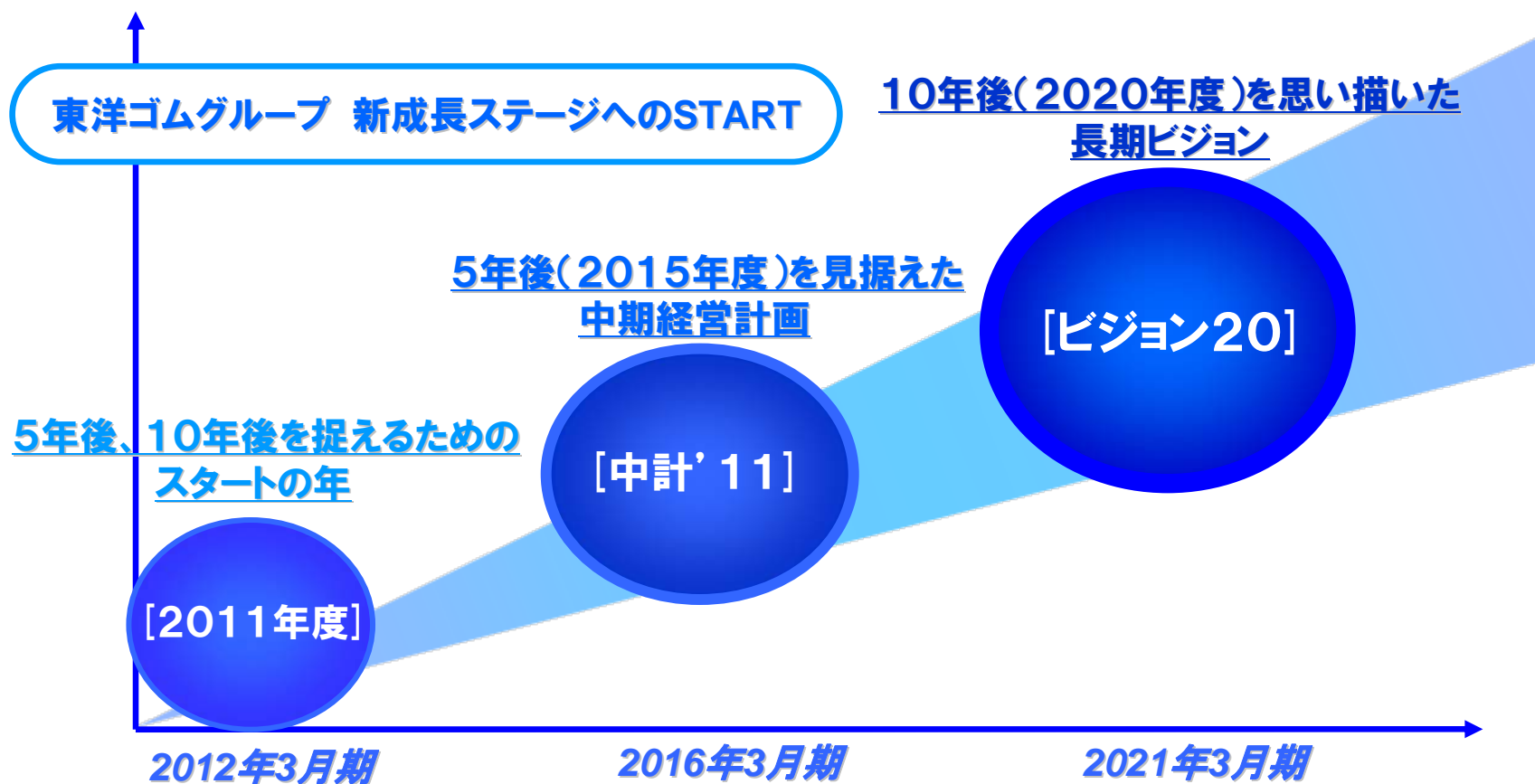
◆取り組むべき課題

- *成長市場におけるスピーディーな事業拡大
- *高付加価値製品の開発と確実な市場投入
- *筋肉質な企業体質の構築（コスト低減と販売力強化）

3. 2012年3月期(2011年度) 業績予想 ②

■2012年3月期(2011年度)の位置づけ

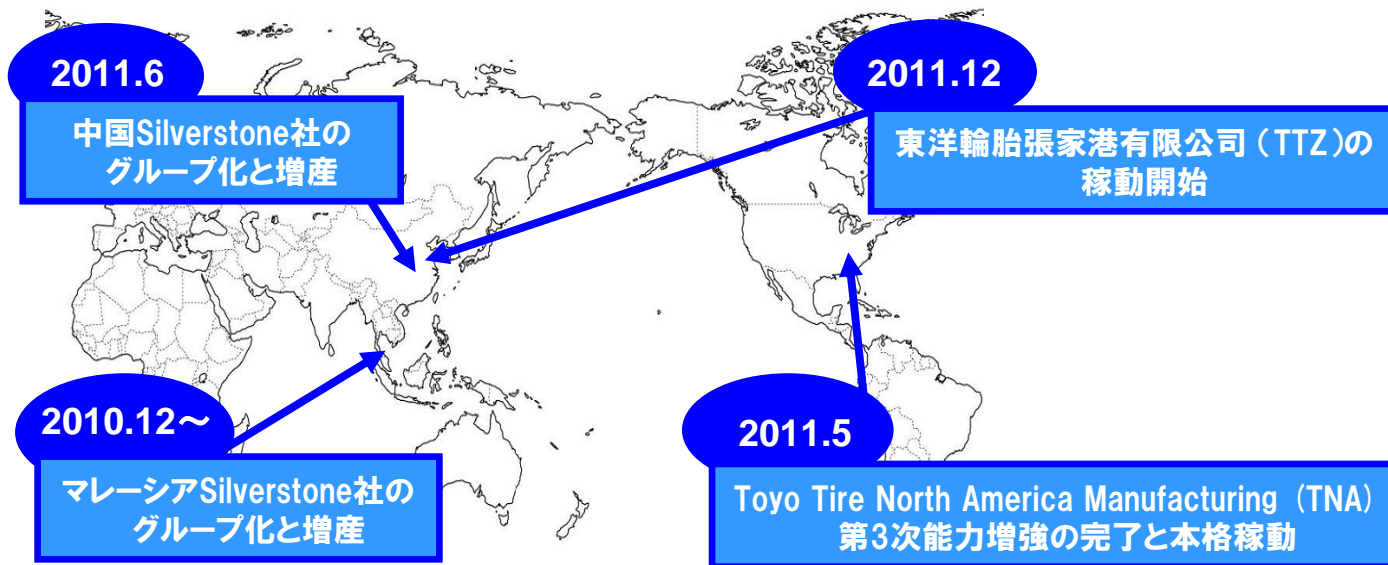
中長期的にグループの成長を展望し、
5年後の計画、10年後のビジョンを捉えるために、
「打って出る年」として、スタートの目標を必ず実現する。



3. 2012年3月期(2011年度) 業績予想 ③

■2012年3月期 重点課題と取り組み

アジアを機軸としたグローバル供給体制の本格稼働



環境配慮商品・高付加価値製品の開発と供給



スーパーエコウォーカー
SUPER ECO WALKER



VERSADO LXII
Smooth, comfortable, and quiet for luxury redefined.

3. 2012年3月期(2011年度) 業績予想 ④

■2012年3月期 通期業績見通し (前期比)

(百万円)	2011年度		2010年度
	通期見通し	前期比	通期実績
売上高	322,000	109.5%	294,092
営業利益	7,700	63.2%	12,182
経常利益	5,000	54.4%	9,193
当期純利益	2,000	383.9%	521
設備投資額	27,700	99.6%	27,800
減価償却費	19,600	120.2%	16,300

◆平均為替レート

対ドル	83円	86円
対ユーロ	117円	113円

	為替感応度
US\$	2.7億円/年
€	1.0億円/年

(経常利益ベースで1円の変動につき)

◆配当予想

配当	5円(予定)	5円(予定)
----	--------	--------

2. 2012年3月期(2011年度) 業績予想 ⑤

■事業セグメント別 通期業績予想 (前期比)

(百万円)	通期見通し 売上高		
	2011年度予想	前年比	2010年度実績
タイヤ	252,800	116.7%	216,578
ダイバーテック	69,000	89.2%	77,314
その他	200	100.0%	200
調整額	—	—	—
合計	322,000	109.5%	294,092

通期見通し 営業利益		
2011年度予想	前年比	2010年度実績
6,800	76.7%	8,863
600	18.8%	3,197
300	204.1%	147
—	—	△27
7,700	63.2%	12,182

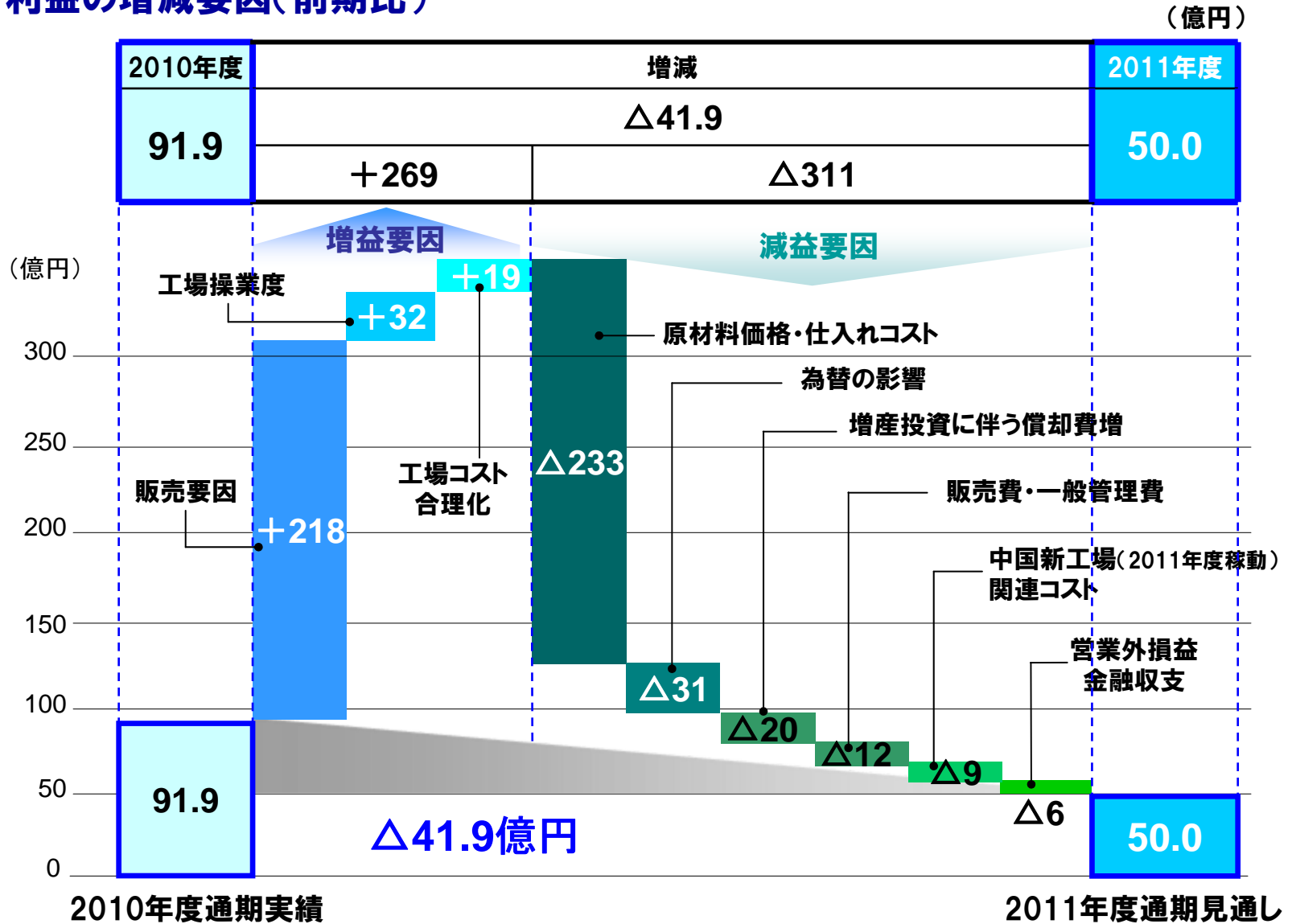
■所在地セグメント別 通期業績予想 (前期比較)

(百万円)	通期見通し 売上高		
	2011年度予想	前期差	2010年度実績
日本	166,500	+9,393	157,107
北米	112,000	+16,693	95,307
その他	43,500	+1,822	41,678
消去または全社	—	—	—
合計	322,000	+27,907	294,093

通期見通し 営業利益		
2011年度予想	前期差	2010年度実績
5,000	△662	5,662
3,700	△615	4,315
500	△1,389	1,889
△1,500	△1,816	316
7,700	△4,482	12,182

3. 2012年3月期(2011年度) 業績予想 ⑥

■ 経常利益の増減要因(前期比)



4. 補足資料 ①

◆タイヤ:地域別販売数量(本数ベース、前年比)

(%)

地 域	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 通期実績	2011年度 通期見通し
日 本	99	86	114	97	104
海 外	115	100	96	100	130
(内 北 米)	(114)	(90)	(95)	(101)	(117)
(内 欧 州)	(110)	(102)	(87)	(106)	(92)
タイヤ事業全体	108	94	103	99	120

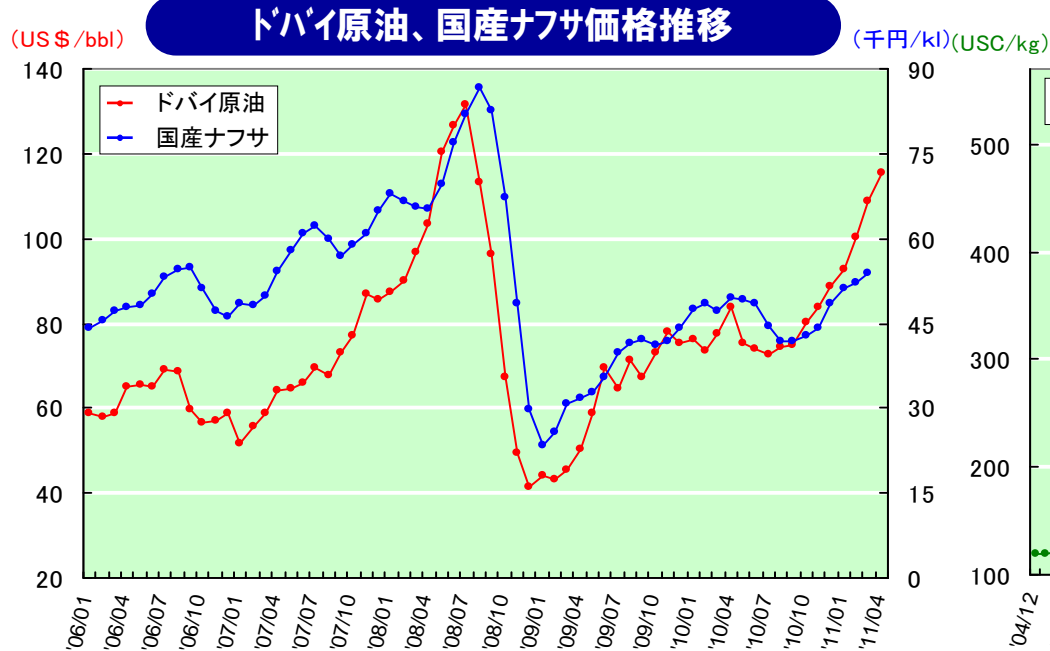
◆タイヤ生産量(新ゴム量)の推移

(千トン)

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度 通期実績	2011年度 通期見通し
日 本	156.0	135.9	133.1	147.4	155.9
海 外	40.0	39.4	34.7	32.7	65.2
合 計	196.0	175.3	167.8	180.1	221.1

4. 補足資料 ②

◆主要原材料価格の動向



◆主要原材料別 価格上昇影響額(経常利益ベース)

原 材 料 別	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
天 然 ゴ ム	▲64	▲15	▲62	+52	▲101
石 化 品	▲48	▲38	▲77	+106	▲32
そ の 他 原 材 料	▲12	▲1	▲30	+1	+33
仕 入 れ 製 品	▲8	▲7	▲18	+6	▲0
合 計	▲132	▲61	▲187	+165	▲100

■市販用タイヤ値上げ状況 …… 原材料高の影響から米国を中心に値上げを継続

地域	実施日	内容	対象
米国	2010年 1月1日	最大 6%値上げ	乗用車用、ライトトラック用、トラック・バス用ほか全車種
	2010年 2月1日	最大 7%値上げ	トラック・バス用
	2010年 6月1日	最大 8%値上げ	乗用車用、ライトトラック用、トラック・バス用ほか全車種
	2010年11月1日	最大 6%値上げ	乗用車用、ライトトラック用、トラック・バス用ほか全車種
	2011年 3月1日	平均 8%値上げ	乗用車用、ライトトラック用、トラック・バス用ほか全車種
	2011年 5月1日	最大15%値上げ	トラック・バス用
欧州	2010年 5月1日	平均 5%値上げ	乗用車用、ライトトラック用、トラック・バス用ほか全車種
日本	2011年 3月1日	平均 7%値上げ	建設車両用、産業車輛用、トラック・バス用及び一部ライトトラック用
	2011年 4月1日	平均 7%値上げ	乗用車用、及び一部ライトトラック用(3/1値上げ分除く)

○その他市場

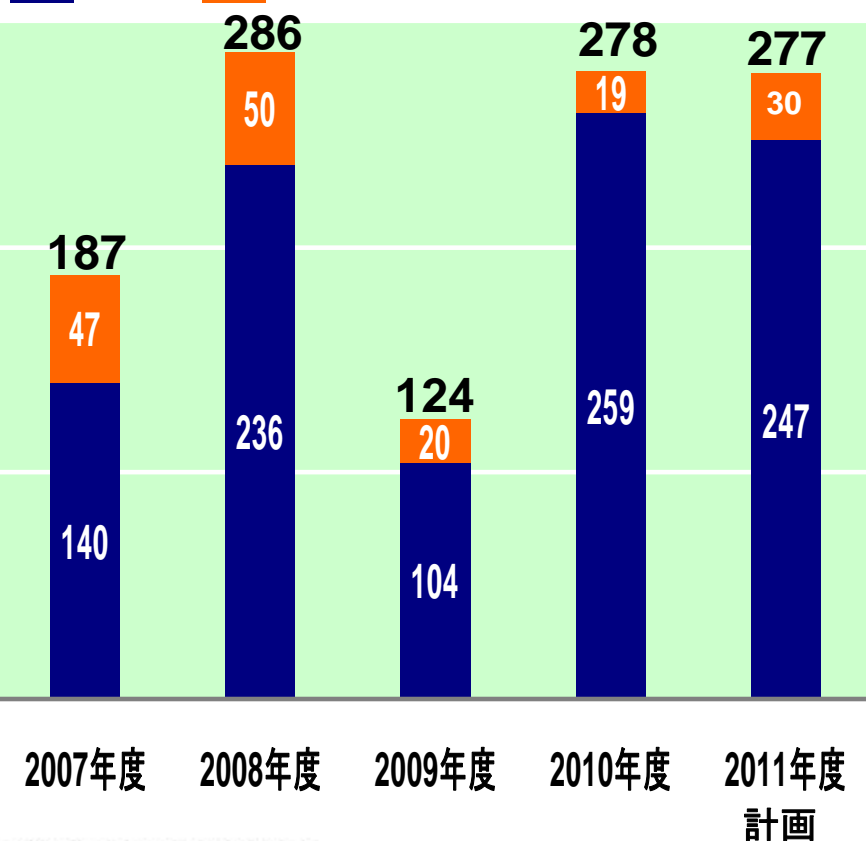
天然ゴムをはじめとする原材料価格高騰の影響を補うために、個別市場・客先別に値上げを実施している。

◆設備投資額(有形)の推移

'11年度見込み
設備投資額:277億円

(タイヤ:247億円 ダイバーテック他:30億円)

■ タイヤ ■ ダイバーテック他 (億円)

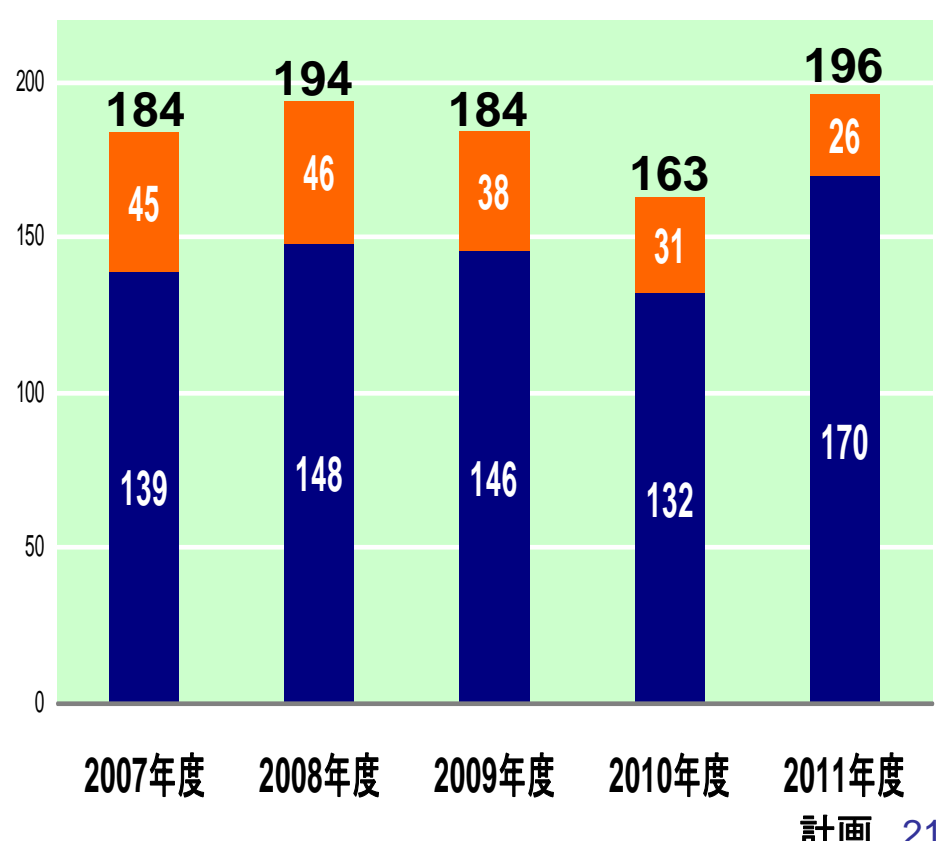


◆減価償却費(有形)の推移

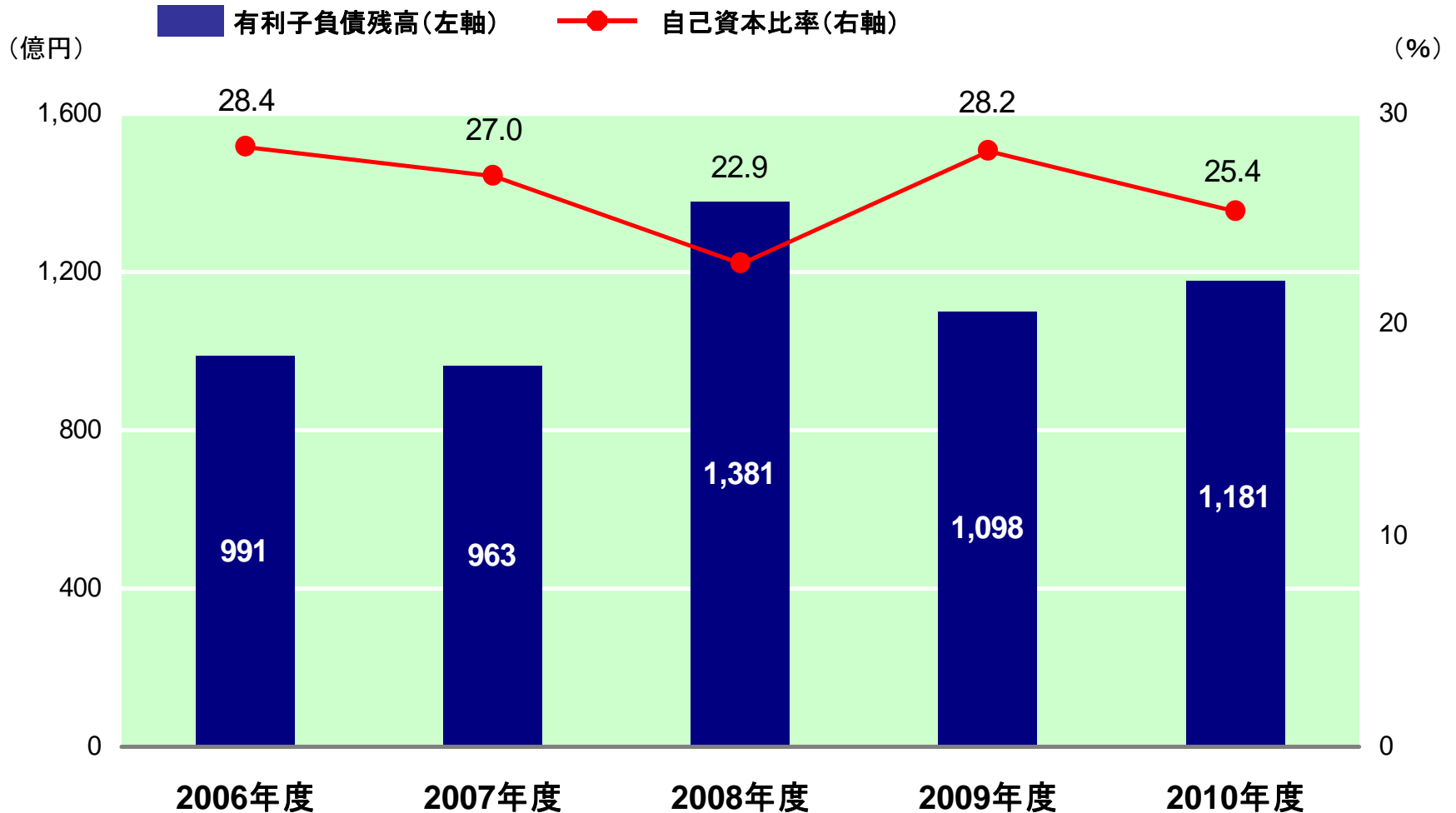
'11年度見込み
減価償却費:196億円

(タイヤ:170億円 ダイバーテック他:26億円)

■ タイヤ ■ ダイバーテック他 (億円)



◆有利子負債残高と自己資本比率の推移



硬質ウレタン製断熱パネル問題の対応進捗……2011年4月28日現在

●改修工事進捗状況 ⇒ 1日も早い工事完了を目指し鋭意推進中

	改修対象	工事完了 (法適合含む)	改修開始	改修工事 打合せ中
物件数	159物件	151物件	0物件	8物件

今後改修8物件

●改修対象不明m²進捗状況 ⇒ 関係省庁へもご相談して調査継続中

	改修対象m ²	判明m ²	調査継続中m ² (残量)
m ² 数	17.39万m ²	17.12万m ²	0.27万m ² (約1.6%)

●残る 8物件 今後の予定

	2011年度 上期 ※	2011年度 下期 ※	当該特定行政庁と 改修方法協議中
物件数	2物件 完了予定	3物件 完了予定	3物件 協議中⇒決定次第改修予定

※建物所有者さまと協議して改修時期を決定しました

TOYO TIRES
driven to perform